

会員各位

一般社団法人 島根県薬剤師会  
「健康サポート薬局」研修実施責任者  
理事 小椋 邦夫

「健康サポート薬局のための多職種連携研修（研修会 A）」及び  
「健康サポートのための薬剤師の対応研修会（研修会 B）」  
開催・受講者募集のご案内

平成28年4月1日に施行された「健康サポート薬局」については、平成28年10月1日から、都道府県知事への届出が開始されました。

薬局は、「健康サポート薬局」である旨の表示を行うにあたり、厚生労働省が定める基準で規定される「常駐する薬剤師の資質に係る所定の研修」を修了した薬剤師が常駐する必要があるため、届出にあたっては所定の研修終了証の提出が必要とされています。

昨年より日本薬剤師会・日本薬剤師会研修センターの両団体が合同で当該研修を実施しており、本会はその協力機関として「技能習得型研修」を開催しています。本年度も下記の研修会 A 及び研修会 B を同日に開催することといたしました。

受講を希望される方は下記によりお申込みください。

記

1. 研修会名 : 健康サポートのための多職種連携研修（研修会 A） 定員 40 名  
健康サポートのための薬剤師の対応研修（研修会 B） 定員 40 名  
（主催：島根県薬剤師会・共催：日本薬剤師会）
2. 開催日時 : 平成29年9月3日（日）9：30～18：30
3. 場 所 : 島根県薬剤師会館
4. 内 容 : 別紙のとおり
5. 受講料 : 研修会 A, 研修会 B 各 5,000 円（但し当会会員は 2,000 円）  
※研修会当日、受付にてお支払いください。
6. 申込方法 : 別紙受講申込書（県薬ホームページからダウンロード可）にご記入の上、  
**8月25日（金）までに FAX にて島根県薬剤師会事務局へお申し込み下さい。**  
送付先：島根県薬剤師会事務局 **FAX : 0852-26-5358**
7. その他 : 受講が決定された方には、8月31日までに受講票を FAX で送付いたします。

■受講対象者について

すでに「健康サポート薬局」である旨を表示し得る業務体制を有する薬局に従事しており、健康サポート薬局の意義や諸規定を理解し、健康サポート薬局として地域住民の健康の保持増進に貢献する意欲のある薬剤師を対象とします。

研修の修了要件には、薬剤師として薬局での5年の実務経験が必要であることから、今回の研修会は、**既に薬局での5年の実務経験を有する方**を優先的に受け付けます。

■受講証明書、研修修了証について

技能習得型研修（集合研修）を受講された方には、各研修会について「受講証明書」を島根県薬剤師会から発行いたします。e-ラーニングについては、22時間分の教材の受講を完了した方に、e-ラーニング研修の受講証明書が日本薬剤師会から発行されます。研修会 A・B、e-ラーニング、合計3つの「受講証明書」を取得され、かつ5年以上の薬局での実務経験を有する方には、研修実施機関である日本薬剤師会・日本薬剤師会研修センターから「研修修了証」が発行されます。（発行には申請が必要です。手続き方法と申請料については日本薬剤師会ホームページに掲載されています。）

「健康サポート薬局」の届出を行う際には、修了証を他の必要書類とあわせて届出先に提出して下さい。

## ■備考

- ・当日受付はいたしませんので、申込締切日は「厳守」して下さい。
- ・受講は時間厳守です。(遅刻、早退すると「受講証明書」は交付いたしません。)
- ・本研修は個人に係る資格のため、代理出席はできません。
- ・当日、理解度確認のためレポートを作成いただきます。筆記用具をご持参ください。
- ・昼食は、研修会A・B両方受講の方のみ準備いたします。
- ・県薬会館及び近隣の駐車場は数に限りがございますのでご注意ください。

## ■研修会の内容

### ○健康サポートのための多職種連携研修（研修会 A）

#### (1) 基本理念（40分）

- ①健康サポートの基本理念（日薬 DVD）（20分）
- ②健康サポート薬局の理念  
地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師（20分）

#### (2) 当該地域の医療・保健・介護・福祉等の資源と役割の現状（80分）

- ①当県における健康課題と健康増進施策、健康サポート薬局への期待（30分）
- ②健康づくりの取り組み（40分）
- ③当該地域の医療・保険・健康・介護・福祉等の資源について（10分）

#### (3) 演習（120分）

- ①アイスブレイク 15分 「健康サポート薬局」とは
- ②ケーススタディ 80分 ・グループ討議 50分 ・発表 30分
- ③演習のまとめ 20分 ④県薬まとめ 5分

### ○健康サポートのための薬剤師の対応研修（研修会 B）

#### (1) 薬局・薬剤師を巡る現状と健康サポート薬局（県薬役員）（20分）

薬剤師を取り巻く地域医療・地域保健等の現状、健康サポート薬局の理念、本研修の目的・達成目標等について、県薬役員から説明

#### (2) 薬局利用者の状態把握と対応（DVD+進行役）チャプター1～16（245分）

日本薬剤師会・日本薬剤師研修センターが合同で取り組んできた「薬剤師の臨床判断と一般用医薬品適正使用研修事業」のノウハウを活用し、当該研修会の収録 DVD を用いて実施

- 1 導入講義
- 2 来局者対応ロールプレイ 2 症例
- 3 作業① 症候からの疾患の列挙
- 4 講義（臨床判断、アルゴリズム、トリアージ他）
- 5 作業② 症状を訴える疾患と症状の特徴の列挙
- 6 講義（症状を呈する疾患概要）
- 7 作業③ 疾患を推測するためのアルゴリズム作成
- 8 講義（アルゴリズム例の解説）
- 9 作業④ トリアージプランの作成
- 10 仕上げのロールプレイ（若干の作業を含む）
- 11 作業⑤ 参加者同士のロールプレイ
- 12 まとめ

#### (3) まとめ（県薬役員）（5分）

冒頭の講義及び演習を踏まえて、まとめ（健康サポート薬局の役割の再確認、地域での生かし方など）